

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	コミュニケーションシステム設計論特論		
英文授業科目名	Advanced Lectures on Emergent Communication Systems Design		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	奥乃 博		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
okuno@i.kyoto-u.ac.jp	

【主題および達成目標】
本講義は、混合音などの一般的な理解、人工知能の立場からの記号処理、およびソーシャルインタラクションを志向した混合音処理について、基盤技術を学び、かつ実際に音声処理プログラムを使った有効性の検証を行う。

【前もって履修しておくべき科目】
ない。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
音声認識、音声処理についての入門書を読んでおくことと理解が早い。

【教科書等】
授業の中で資料を配布する。

【授業内容とその進め方】
<p>授業開始時点で、隔週 8回を目安に授業計画を伝える。以下に内容を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.課題の説明、音声認識の概要 2.混合音処理 3.調波構造による音響ストリーム分離 4.音源方向による音響ストリーム分離 5.画像情報統合による音響ストリーム分離 6.音源定位・音源分離 7.ロボット聴覚

電気通信大学 平成20年度シラバス

8.音楽情報処理・擬音語認識
9.演習発表

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席点、演習レポート、討論の積極性などを総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

メールで予め、相談内容、日時のアポイントメントを取ること。

【学生へのメッセージ】

音情報処理についての知識の修得に加えて、音声認識システムの構築技術も修得できる講義内容にしてあるので、興味を持って取り組んで欲しい。

【その他】